

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／資産複合／ 特殊型（条件付運用型） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特化型</span>
信託期間	2019年8月9日から2025年6月5日まで
運用方針	イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）Ⅱ（以下、ユーロ円建債券とすることがあります。）を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。
主要運用対象	ソシエテ・ジェネラルの100%子会社であるルクセンブルグ籍の「ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイ」が発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回（6月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて、収益の分配を行います。 ①分配対象額は、元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドは特化型運用を行います。  
特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するファンドをいいます。

※寄与度とは投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成割合をいいます。

当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行する「イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）Ⅱ」に集中投資をしますので、当該ユーロ円建債券の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。また当該ユーロ円建債券の原資産であるイタリア国債の価格急落や債務不履行等があった場合には、その影響を受け、大きな損失が発生することがあります。

## ソシエテ・ジェネラル イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券 （為替参照利回り変動型）ファンド2019-08

愛称：アズーリ201908

### 運用報告書（全体版）

第4期

（決算日 2023年6月12日）

受益者のみなさまへ

平素は「ソシエテ・ジェネラル イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）ファンド2019-08」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

## ◎設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	債券 組入 比率	元本 残存率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率			
	円	円	円	%	%	%	%
(設定日) 2019年 8月 9日	10,000	—	—	—	—	—	100.0
(第1期) 2020年 6月10日	9,877	95	△ 28	△0.3	△0.3	98.5	80.8
(第2期) 2021年 6月10日	10,086	30	239	2.4	1.1	99.0	74.5
(第3期) 2022年 6月10日	9,986	30	△ 70	△0.7	0.5	98.6	58.6
(第4期) 2023年 6月12日	10,119	30	163	1.6	0.8	98.5	47.4

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは、「ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイ」が発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

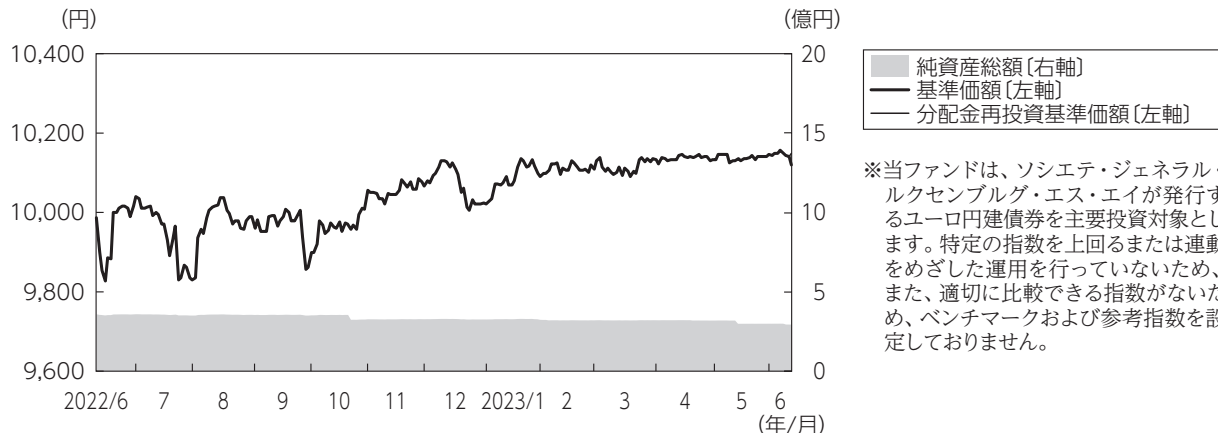
年月日	基準価額		債券組入比率
	騰落率	騰落率	
	円	%	%
(期首) 2022年 6月10日	9,986	—	98.6
6月末	10,039	0.5	98.9
7月末	9,830	△1.6	99.2
8月末	9,960	△0.3	99.5
9月末	9,897	△0.9	99.5
10月末	10,055	0.7	98.6
11月末	10,066	0.8	98.7
12月末	10,021	0.4	98.7
2023年 1月末	10,088	1.0	98.5
2月末	10,109	1.2	98.5
3月末	10,131	1.5	98.5
4月末	10,133	1.5	99.2
5月末	10,145	1.6	98.4
(期末) 2023年 6月12日	10,149	1.6	98.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、「ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイ」が発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移



※当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

第4期首(2022年6月10日)： 9,986円

第4期末(2023年6月12日)： 10,119円(既払分配金30円)

騰落率：1.6%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

### ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目指して運用を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

#### (上昇要因)

- ・ 2022年10月から12月上旬にかけて、新たに発足したイタリア右派政権による組閣や政策が市場予想よりも穏健かつ現実的な内容だったことによる安心感の広がりや、欧州地域で相対的に利回りの高いイタリア国債を選好する動きから、イタリア国債の信用スプレッドが縮小したこと

#### (下落要因)

- ・ 2022年7月のイタリア首相の辞意表明、9月の同国総選挙を控えて大衆迎合的な右派が優勢との見方が広がり、バラマキ型の政策による財政悪化懸念からイタリア国債の信用スプレッドが拡大したこと

## ■投資環境

当期のユーロ圏全般の金利は上昇（債券価格は下落）しました。ECB（欧州中央銀行）やBOE（イングランド銀行）による金融引き締め動きに加えて、欧州のCPI（消費者物価指数）が高水準で推移する中、金融引き締め長期化観測が強まったことなどから2022年8月から2023年3月にかけて概ね上昇基調となりました。その後もCPIの高止まりを受けて金利は高水準でもみ合いとなりました。

イタリア国債の信用スプレッドについては縮小しました。2022年7月のイタリア首相の辞意表明、9月の同国総選挙を控えて大衆迎合的な右派が優勢との見方が広がり、バラマキ型の政策による財政悪化懸念から拡大しましたが、2023年1月中旬にかけては新たに発足したイタリア右派政権による組閣や政策が市場予想よりも穏健かつ現実的な内容だったことによる安心感の広がりや、欧州地域で相対的に利回りの高いイタリア国債を選好する動きから、縮小しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

期首の運用方針に基づき、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券の組入比率を高位に維持しました。

当期における投資対象債券の利率決定に関しては以下の通りとなりました。

銘柄名：イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）Ⅱ

利払日	クーポンレート (年率)	クーポン基準日		クーポン判定日	
			米ドル円為替レート		米ドル円為替レート
2023年5月31日	0.86%	2019年8月9日	105.915円	2023年5月16日	135.895円

※米ドル円為替レートは原則として午後3時(東京時間)におけるBloomberg BFIX米ドル円為替相場の仲値  
(出所：Bloomberg)

### <クーポンレート（利率）決定の仕組み>

- ①第1回 第1回利払は固定利率が適用されます。  
固定利率 年率 1.49%
- ②第2回以降 クーポン基準日の米ドル円為替レートと比較したクーポン判定日の米ドル円為替レートにより次のとおりとなります。  
105.915円以上の円安の場合：年率 0.86%  
105.915円未満の円高の場合：年率 0.66%

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ■分配金

- ・収益分配は、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり30円（税込み）とさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の運用方針

引き続き、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券の組入比率を高位に維持します。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年6月11日~2023年6月12日)		
	金額	比率	
(a)信託報酬	42 円	0.420 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,039円です。
(投信会社)	(17)	(0.166)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(22)	(0.221)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b)その他費用	2	0.025	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	44	0.445	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

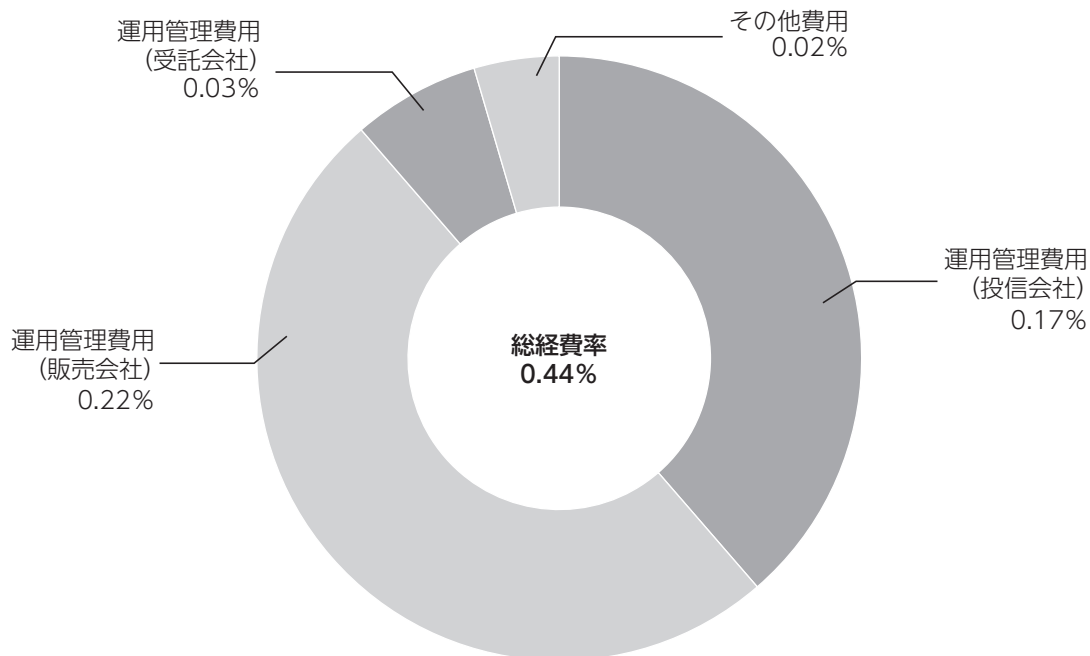
(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報） 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.44%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買及び取引の状況（2022年6月11日～2023年6月12日）

○公社債

			買付額	売付額
外国		社債券 (投資法人債券を含む)	千円	千円
	ルクセンブルグ		—	66,905

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等（2022年6月11日～2023年6月12日）

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(邦貨建)公社債(種類別)

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
社債券 (ユーロ円建債券)	千円	千円	%	%	%	%	%
	284,000	285,704	98.5	—	—	—	98.5
合計	284,000	285,704	98.5	—	—	—	98.5

(注1)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)—印は組み入れなし。

(注4)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(邦貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	当 期		末		償還年月日
	利率	額面金額	評価額		
(社債券(ユーロ円建債券)) イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券 (為替参照利回り変動型)Ⅱ	%	千円	千円		
	—	284,000	285,704		2025/5/23
合計		284,000	285,704		

(注1)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)クーポンレート(利率)は、米ドル円為替レートの水準によって決定されます(初回クーポンレート(利率)は固定)。



## ◎投資信託財産の構成

2023年6月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	285,704	96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,755	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	296,459	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年6月12日現在

項 目	当 期 末
	円
(A)資 産	296,459,324
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,755,324
公 社 債 ( 評 価 額 )	285,704,000
(B)負 債	6,482,923
未 払 収 益 分 配 金	859,725
未 払 解 約 金	5,000,000
未 払 信 託 報 酬	614,437
未 払 利 息	32
そ の 他 未 払 費 用	8,729
(C)純 資 産 総 額 ( A - B )	289,976,401
元 本	286,575,178
次 期 繰 越 損 益 金	3,401,223
(D)受 益 権 総 口 数	286,575,178口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,119円

## ◎損益の状況

自 2022年6月11日  
至 2023年6月12日

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	2,611,811
受 取 利 息	2,468,200
そ の 他 収 益 金	144,215
支 払 利 息	△ 604
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 94,900
売 買 益	231,800
売 買 損	△ 326,700
(C)有 価 証 券 評 価 差 損 益	3,669,600
(D)信 託 報 酬 等	△1,464,806
(E)当 期 損 益 金 ( A + B + C + D )	4,721,705
(F)前 期 繰 越 損 益 金	△ 488,250
(G)解 約 差 損 益 金	27,493
(H)計 ( E + F + G )	4,260,948
(I)収 益 分 配 金	△ 859,725
次 期 繰 越 損 益 金 ( H + I )	3,401,223

(注1)当ファンドの設定年月日は2019年8月9日です。

(注2)当ファンドの設定元本額は604,209,776円、期首元本額は354,620,009円、期末における元本残存率は47.4%です。

(注3)1口当たり純資産額は1.0119円です。

(注4)損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5)損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注6)計算期間末における元本超過額4,260,948円と分配可能額1,015,866円のうち、多い金額4,260,948円を分配対象金額として859,725円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

## ◎収益分配金のお知らせ

1 万口当たりの分配金（税込み）	30円
------------------	-----

## ※分配金をお支払いする場合

分配金は、決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。